

新庄市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因と考えられる猛暑や集中豪雨、大型の台風等の深刻な自然災害が多発しています。

本市においても、2024年7月に大雨災害が発生し、甚大な被害がもたらされました。

2015年に採択されたパリ協定では、「産業革命以前の平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に共有され、その実現には2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロとすることが必要とされました。

新庄市では、将来にわたって市民が安心して暮らすことができる環境を次世代に引き継ぐため、市民や事業者の皆さまと連携して地球温暖化対策を積極的に推進し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことをここに宣言します。

2024年12月23日



新庄市長
山科朝則

新庄市ゼロカーボンシティ宣言式

日時：令和6年12月23日（月）

13：30～15：00

会場：新庄市民プラザ 1階 大ホール

主催：新庄市

次第

1. 開 式

2. 市長挨拶

3. 基調講演

講師：東北芸術工科大学デザイン工学部

建築・環境デザイン学科 教授 三浦 秀一 氏

演題：「ゼロカーボンは安心快適な生活と豊かな地域経済のために

－ 気候変動問題とエネルギー価格問題の同時解決－」

4. ゼロカーボンシティ宣言

5. 閉 式

ゼロカーボン

新庄市が宣言

官民連携し温暖化対策

新庄市は23日、2050年までに二酸化炭素(CO₂)の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すと宣言した。

同市は今日1日から市内の全小中学校・義務教育学校で使う電力を、CO₂を排出しない再生可能エネルギーの電力に切り替えた。市民や企業と共に取り組む具体的な施策を新年度予算に反映させる。

宣言式は市民プラザで行われ、約120人が出席した。地球温暖化問題について学んだ日新小6年生5人が「学校では電気を小まめに消し、水を出しっぱなしにしないよう呼びかけていく」と発表。ゼロカーボンに取り組む市内の企業代表からも登壇し、山科朝則市長が「市民や事業者と連携して地球温暖化対策を積極的に推進する」と宣言した。

式に先立ち、東北芸術工科大（山形市）の三浦秀一教授が「ゼロカーボンは安心快適な生活と豊かな地域経済のために」と題して基調講演を行った。



日新小の6年生5人（最前列）が身近な実践を発表したゼロカーボンシティ宣言式

〓新庄市民プラザ